

資料1

第12次鳥取市総合計画の策定について

第12次鳥取市総合計画の策定概要について

1. 策定にあたっての基本的な考え方

鳥取市総合計画は、鳥取市自治基本条例に基づき、総合的・計画的な市政運営を図るために策定するものであり、掲げる「めざす将来像」や「まちづくりの理念」は、鳥取市の将来を見据えた中長期的な視点に基づき、本市が進むべき方向性を定めるものです。

2. 策定にあたっての視点

鳥取市の「明るい未来」をみんなで描き、みんなで行動する

- (ア) 市民みんなで取り組む計画
- (イ) 市民にわかりやすく、読みたくなる計画
- (ウ) 市民の意見を反映した計画
- (エ) 柔軟性のある計画

3. 総合計画の骨子（たたき台）

・・・詳細P3

I 総合計画基本構想

1 策定の趣旨

2 鳥取市ってどんなまち？

- (1) 鳥取市の歩み
- (2) 鳥取市の現状
- (3) 市民からみたこのまち
- (4) 都市のすがた

3 鳥取市の10年後はどうなるんだろう？

- (1) 時代の潮流 ……詳細P4
- (2) まちづくりの基本的な考え方 ……詳細P5
- (3) まちづくりの理念 ……考え方P6
- (4) めざす将来像 ……考え方P7
- (5) 人口の見通し ……考え方P8～9
- (6) まちづくりの目標

4 計画の役割、構成及び期間

- (1) 計画の役割
- (2) 構成及び期間
 - ・基本構想：10年間（令和8年度～令和17年度）
 - ・基本計画：5年間（令和8年度～令和12年度）
 - ・実施計画：基本計画の期間内で策定
- (3) 第12次鳥取市総合計画と第3期鳥取市創生総合戦略の関係性
 - ・「第3期鳥取市創生総合戦略」を構成する施策は、第12次鳥取市総合計画の重点施策とします。
- (4) 計画の進行管理

5 第12次鳥取市総合計画の体系

II 総合計画基本計画

- 1 計画策定における基本方針
- 2 重点施策の推進
- 3 基本施策の推進

現行計画の構成と第12次鳥取市総合計画の構成案

【現行計画の構成】

鳥取市の「明るい未来」を
みんなで描き、みんなで行動する

【次期計画の構成案】

※赤字は新規項目

基本構想
(10年間)

1. 計画策定の趣旨
2. 計画の役割・構成と期間等
3. 人口と財政の長期的な見通し
4. 時代の潮流とまちづくりの課題
5. まちづくりの方向
 - (1) 基本的な考え方
 - (2) まちづくりの理念
 - (3) めざす将来像
 - (4) 計画推進における基本方針
 - (5) まちづくりの目標
 - (6) 第11次鳥取市総合計画の体系
 - (7) 第11次鳥取市総合計画と
第2期鳥取市総合戦略
6. 都市のすがた

1. 策定の趣旨

2. 鳥取市ってどんなまち？

- (1) 鳥取市の歩み
- (2) 鳥取市の現状
- (3) 市民からみたこのまち
- (4) 都市のすがた

3. 鳥取市の10年後はどうなるんだろう？

- (1) 時代の潮流
- (2) まちづくりの基本的な考え方
- (3) まちづくりの理念
- (4) めざす将来像
- (5) 人口の見通し
- (6) まちづくりの目標
- (7) 計画推進における基本方針

4. 計画の役割、構成及び期間

5. 第12次鳥取市総合計画の体系

基本計画
(5年間)

1. 計画推進における基本方針に沿った具体的な取組
2. 重点施策の推進
3. 基本施策の推進

1. 計画推進における基本方針に沿った具体的な取組
2. 重点施策の推進
3. 基本施策の推進

「時代の潮流」の詳細

▷ 求められる事柄

(内容は整理中)

(1) 人口減少、少子高齢化の進行

- 経済の収縮や都市活力の低下
- 生産年齢人口の減少による労働力不足
- 若者世代を中心とする転出超過
 - ▷ 移住・定住の促進
 - ▷ 若者に魅力的な雇用機会の創出

(2) 超高齢社会の到来

- 高齢者人口の増加
- 一人暮らし世帯の増加
- 医療・介護ニーズの拡大
- 社会保障費の増大
 - ▷ 健康寿命の延伸
 - ▷ 地域包括ケアシステムの深化・推進

(3) 求められる地域共生社会の実現

- 地域コミュニティの希薄化
- 地域活動の担い手不足の進行
- 外国人労働者の増加
- 社会ニーズの多様化
 - ▷ 多文化共生の推進
 - ▷ 住み慣れた地域で安心して暮らせる社会の構築

(4) 価値観や行動の変化に伴うライフスタイルの多様化

- デジタル技術の普及によるライフスタイルの多様化
- 価値観の多様化や世代間ギャップ
 - ▷ デジタル技術の恩恵をすべての世代に広げ格差を解消
 - ▷ 多様性を尊重する地域社会の形成

(5) 地域経済の成長軌道への転換と地域活力の創出

- 観光需要の回復
- 物価高騰等による地域経済への影響の深刻化
- 魅力ある地域づくりによる関係人口の創出
 - ▷ 地域特有の自然や文化資源を活かした観光振興
 - ▷ デジタル技術等を活用した産業の高付加価値化
 - ▷ 多様な交流を通じた滞在機会の創出

(6) 安全・安心への意識・関心の高まり

- 自然災害の激甚化や感染症の発生
- 多様化するリスクへの対応
 - ▷ 地域全体での防災・減災の取り組み強化
 - ▷ 犯罪抑止や危機管理体制の充実
 - ▷ 安全で安心な地域づくりの実現

(7) 地球環境の変化と持続可能な社会の構築

- 気候変動や環境問題への対応
- 温室効果ガス排出量の削減
- 環境負荷の低減への意識の高まり
 - ▷ 経済活動と環境保全の両立
 - ▷ 環境に配慮した地域づくりの推進

(8) 時代に適応した持続可能な自治体経営

- 少子高齢化や生産年齢人口の減少に伴う税収の減少
- 公共施設やインフラの老朽化
 - ▷ 「スマート自治体」への転換
 - ▷ 効率的な行政運営やファシリティマネジメントの推進
 - ▷ 市民・事業者との協働や戦略的なシティセールスの展開

「まちづくりの基本的な考え方」の詳細

次の時代の鳥取市のまちづくりを考えていく上で求められるものとして、市民アンケート、ワークショップなど市民等からいただいたご意見も踏まえて整理すると

① 一人ひとりの個性が尊重され、自分らしく過ごすことができること▶ 共生（尊重・寛容）

【具体的な意見】 自分らしく生きていける 意見が反映されるまち
お互いを尊重し合い、生き生きと活躍しているまち など

② 若者や子どもが将来に希望を持ち、いきいきと活躍できること...▶ 挑戦（希望・活躍）

【具体的な意見】 若者の希望が叶うまち 子どもが賑わうまち 挑戦を応援し合うまち
人口が少なくても一人ひとりが活躍できるまち 安心して子育て、仕事を両立できるまち など

③ 暮らしや交流を支える豊かなつながりがあること▶ 協働（連携）

【具体的な意見】 ゆとりのある生活ができるまち 幸福度が高いまち 支え合い・協働のまち
多くの人とコミュニケーションがとれ支え合えるまち など

④ 鳥取市固有の資源が大切にされ、引き継がれ、活用されていること...▶ 誇り（愛着）

【具体的な意見】 誇れるふるさと 地域文化に誇りを持つ 自然を大切に後世に残すまち など

また、将来像の表現については、以下のようなご意見をいただきました。

● 鳥取市の強みを具体的に取り入れるなど、鳥取市ならではのわかりやすい理想像、方向性を示してはどうか。

「まちづくりの理念」の考え方

これまでの鳥取市のまちづくりの理念

人を大切にするまち

(第9次総合計画)

鳥取市を飛躍させる、発展させる

(第10次、第11次総合計画)

をベースに、

第12次鳥取市総合計画策定にあたっての視点

鳥取市の「明るい未来」をみんなで描き、みんなで行動する

これらとまちづくりの基本的な考え方を踏まえ、まちづくりの理念を設定します。

まちづくりの理念（案） 「共生・挑戦・協働・誇り」

魅力ある地域資源を持つ鳥取市に誇りを持ち、広く挑戦しようとする心を育み、様々な人々が互いに尊重しながら協力し、共に暮らしていくことのできるまちづくりを進めます。

「めざす将来像」の考え方

○めざす将来像は、まちづくりの基本的な考え方を踏まえたものとします。

○鳥取市には、歴史や文化、自然などの多くの魅力や可能性を持った地域資源があり、人の温かさや誠実さなど、市民の人柄や気質を含め、それら全体が「鳥取市らしさ」を形成しています。

○ワークショップ等で市民や移住者・県外在住者からお聞きした鳥取市らしさのイメージは「鳥取砂丘」でした。鳥取市らしさを大切にするめざす将来像を補完し、そのイメージを伝えるためのキャッチフレーズも設定します。

まちづくりの基本的な考え方

「①一人ひとりの個性を尊重」 「②若者や子どもが活躍」

「③暮らしや交流を支える豊かなつながり」

「④鳥取市固有の資源を大切に」

鳥取砂丘・オアシス

美しく輝く砂粒一つずつが砂丘という大きな強みを形づくる

オアシスにひと・もの・ことが行き交い賑わう

鳥取砂丘を代表とする美しい景観や自然に囲まれて暮らす



豊かな自然や文化など鳥取市固有の資源を大切にしながら、一人ひとりの個性を尊重し、支え合い、若者や子どもなどみんなが活躍し、賑わいあふれる鳥取市を目指します。

一人ひとりが自分の力を発揮でき 支え合いながら

めざす将来像（案）

ともに豊かに暮らせる鳥取市

～オアシスとっとり～

人口の見通し（目標とする人口）の考え方

（１）推計条件

①合計特殊出生率について

現行の鳥取市人口ビジョンでは、2030年に希望出生率1.8、2040年に人口置換水準2.07を目指してしていました。しかし、現時点で合計特殊出生率に改善が見られないことや社人研推計における合計特殊出生率の仮定値が前回よりも下回っていること、その他、出生動向基本調査による若者の結婚や子育てに対する意欲に低下が見られることなどを踏まえ、目標達成年次を見直し、2035年に希望出生率1.70、2045年に人口置換水準2.07を目指すものとして推計しました。

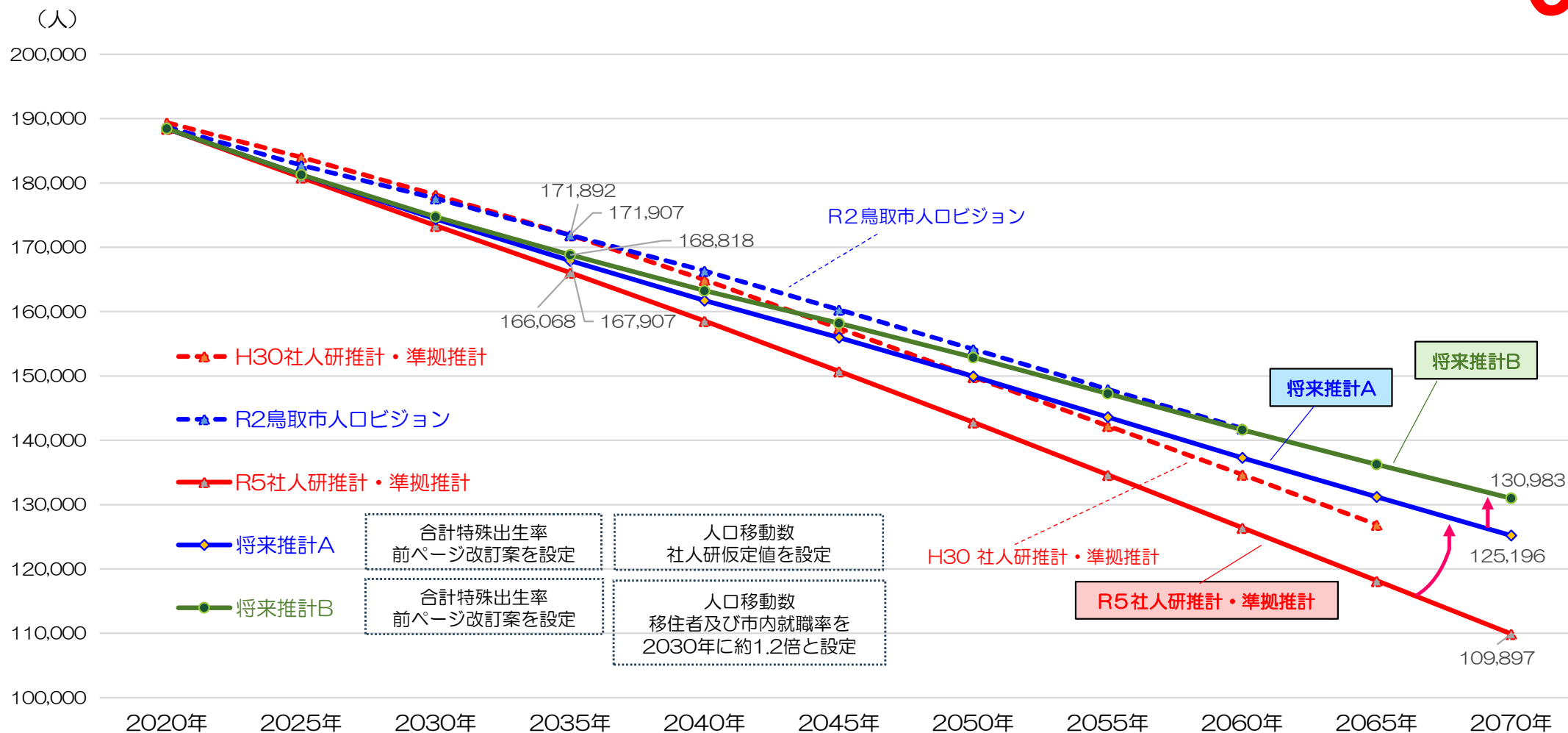
条件	2017	2020	2023	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060	2065	2070
実績値	1.45	1.54	1.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H30社人研推計	-	1.64	-	1.63	1.63	1.64	1.64	1.65	1.65	1.65	1.65	-	-
R5社人研推計	-	-	-	1.40	1.44	1.48	1.49	1.49	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50
人口ビジョン（現行）	-	1.50	-	1.50	希望出生率 1.80	1.80	人口置換水準 2.07	2.07	2.07	2.07	2.07	-	-
人口ビジョン改訂案	-	-	-	1.50	1.60	希望出生率 1.70	1.85	人口置換水準 2.07	2.07	2.07	2.07	2.07	2.07

②人口移動数（純移動数）について

現行の鳥取市人口ビジョンでは、2010年→2015年の移動率が維持される（H30社人研推計と同様）と仮定していました。今回の改訂では、2015年→2020年の移動率（R5社人研推計と同様）に加えて、若者などを対象とした移住施策の推進や雇用環境向上等に取り組み、転入促進・転出抑制を図ることで人口減少を抑制するものとして推計しました。

(2) 将来推計結果

9



	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年	2065年	2070年
R2鳥取市人口ビジョン	188,717	182,777	177,621	171,907	166,361	160,316	154,166	147,959	141,855		
H30社人研推計・準拠推計	189,395	184,011	178,157	171,892	164,941	157,404	149,852	142,257	134,659	126,896	
R5社人研推計・準拠推計	188,465	180,866	173,353	166,068	158,568	150,737	142,789	134,649	126,410	118,156	109,897
将来推計A	188,465	181,274	174,380	167,907	161,720	155,969	149,923	143,600	137,273	131,182	125,196
将来推計B	188,465	181,274	174,716	168,818	163,256	158,198	152,868	147,256	141,632	136,254	130,983